

平成28年3月4日

保護者のみなさまへ

平成27年度川西南中学校学校関係者評価および提言について

少しずつ春の気配を感じる日が多くなってまいりました。保護者の皆様方には、日頃より本校教育活動に、ご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、学校教育アンケートの調査結果を経年比較し、分析・検討したものを、学校評議員会としての学校評価・提言といたします。

川西市立川西南中学校評議員会

代表	大矢根 秀明	(PTA顧問会)
	吉田 雅紀	(加茂小校区)
	田中 里香	(久代小校区)
	塩谷 恵美子	(現PTA)
	大槻 孔美	(現PTA)

1、アンケート内容について

「めざす生徒像」「学校規律について」「学習面について」のように大項目を三つに分け、それぞれに小項目を設けて、A～Dの4段階評価を数値化することにより客観的な分析を行い、学校の現状を知る方法としました。調査の対象は教職員と保護者で、項目・調査対象ともに過去2年間と同じ形態で実施しました。

教職員の自己評価は、ほとんどの項目において概ね上昇傾向にありますが、課題となっている項目においては、まだ改善の余地があります。

保護者アンケートは、概ね上昇傾向であること、課題となっていることの改善の余地があることも、教職員と同様の結果が表れています。

全体を大きく3年間の経験比較という観点で見ても、教職員・保護者の評価は共に、よい方向に推移しつつあることがうかがえます。

2、各項目について

(1)めざす生徒像

5つの「あ」については、保護者・教職員の共通の願いです。保護者は3年間を経年比較しますと、少しずつですがどの項目も評価は上昇しています。教職員は「あたたかい、思いやり」が、昨年比で下降した以外は、3年間経年比較において、3項目が上昇しています。上昇していない2項目においても、3年間経年比較で見ますと横ばいと言えます。ただし、「あきらめず、粘り強く」における教職員評価が、マイナスポイントであることと、他の項目とのポイントの開きがあります。保護者もこの項目については、他の項目に比べて低いポ

イントになっていることから、昨年同様、今後の課題として継続して取り組む必要があります。

(2) 学校規律について

保護者の評価は、3年間経年比較で見ますと、9項目のうち4項目が横ばい、5項目が上昇しています。ポイント内容を見ても概ね良好と判断できます。教職員評価は、3年間経年比較において、8項目中3項目が横ばい、残り4項目は、昨年比からも大きく上昇しています。生徒会活動を軸にした取組みが、効果をあげていることが、一番の理由と考えられます。もう一つは、保護者と教職員の連携、教職員同士の連携が生徒へのよい影響を与えているものと思われます。

(3) 学習面について

保護者評価は、5項目中4項目が横ばい、1項目が3年間経年比較ではっきりと上昇しています。教職員評価は、3年間経年比較で見ますと、5項目中3項目が横ばい、2項目が上昇しています。しかし、内容で見ますと、保護者・教職員共に、家庭での学習習慣の定着のポイントがたいへん低く、この項目は、学校教育アンケートすべての項目の中においても、最も低い評価となっています。学校と家庭がより連携して、改善を検討していく課題と言えます。

ただし、この点に関しては、以前から指摘されている内容であり、現在も継続している「週末課題（プリント）」「自学のすすめ（プリント）」「短学習（読書活動）」なども効果的に絡めながら、家庭学習を自発的にする意欲がこるような授業改善に教職員が取り組んでいくことが必要とされています。

3、全国学力・学習状況調査（平成27年4月21日実施）について(参考)

今年度は、国語A（知識）、国語B（活用）、数学A（知識）、数学B（活用）、理科、生徒質問紙による学習状況調査の6項目において実施されました。

学力調査は、5項目すべてにおいて、全国平均、兵庫県平均を上回っていました。

生徒質問紙による学習状況の特徴として、良い点は、1) 毎日同じ時刻に就寝している 2) テレビ、携帯電話等の視聴・使用時間が少ない 3) 数学・理科学習への取組み姿勢がよい などがあげられ、課題とすべき点は、1) 学校以外での勉強時間が少ない 2) テレビ・新聞やインターネットのニュースを見る時間が少ない などがあげられます。

以上1～3に述べましたとおり、学校教育アンケートによる学校評価と全国学力・学習状況調査などの分析・検討をもとに、今後の課題設定をしっかりとし、具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。

なお、ホームページにおいても公開いたしますので、どうぞ、閲覧してください。